

「子ども医療費および予防接種の助成拡大に関する」福岡市長候補者アンケート集約①

<p>候補者名 到着順に掲載 敬称略</p> <p>質問</p>	<p>吉田 ひろし</p>	<p>ありま 精一</p>	<p>木下としゆき</p>
<p>子どもの医療費助成制度について 【質問1】 少子化対策の一環として子どもの医療費の助成範囲をどこまでにすればよいとお考えですか。 ①高校卒業まで ②中学校卒業まで ③小学校卒業まで ④現状のまま その理由をお書き下さい。</p>	<p>③小学校卒業まで 平成19年度に就学前の乳幼児医療費を無料化していますが、さらに平成23年1月より、入院医療費について小学校卒業まで無料とすることとしております。</p>	<p>②中学校卒業まで 子育てにかかる経済的負担の軽減は少子化対策の重要な柱です。医療費窓口負担についてもせめて義務教育期間である中学校卒業まで助成すべきです。</p>	<p>④現状のまま 子どもの医療費助成は拡大すべき課題ですが、保育所の待機児童の解消など他に優先すべき課題があり、財政が確保できないため。</p>
<p>【質問2】 東京都をはじめ、全国各地で中学校卒業までの医療費助成が行われる自治体が増えてきました。福岡市での中学校卒業までの入院の医療費の完全無料化を実現していただけますか。 ①実現する ②これ以上必要ない ③その他 その理由をお書き下さい。</p>	<p>③その他 今後の子どもの医療費助成の拡大については、他の子育て施策との兼ね合いや、市の財政状況、国・県および他都市の動向などをみながら検討してまいります。</p>	<p>①実現する 福岡市の医療費助成はいまだに就学前までで、来年1月から入院費のみ小学校卒業までに拡充されますが、他の自治体に比べて遅れています。中学校卒業までの完全無料化を実現します。</p>	<p>③その他 病気によっては、入院が長期化し、医療費がかさむものもあります。行政改革により財源がどの程度確保できるかを見ながら検討します。</p>
<p>【質問3】 選挙公約として、福岡市の子どもの医療費助成拡大を掲げていただけますか。 ①掲げます 公約の主な内容をお書き下さい。 ②掲げません その理由をお書き下さい。</p>	<p>②掲げません 平成23年1月に、入院医療について小学校卒業まで無料化することとしており、それ以上の拡大については、他の子育て施策との兼ね合いや市の財政状況、国、県及び他都市の今後の動向を踏まえる必要があります。</p>	<p>①掲げます 子どもの医療費無料化を入院・通院とも中学校卒業まで拡充します。</p>	<p>①掲げます 予防接種等の拡大の検討を公約に掲げます。</p>
<p>【質問4】 子どもの医療費助成制度を国の制度として中学校卒業まで無料化することについて、国に対する意見書をあげていただけますか。 ①意見書をあげる ②意見書をあげない その理由をお書き下さい。</p>	<p>①意見書をあげる 子どもの医療費助成については、既に全国市長会等を通じて新たな財源措置や無料化制度の創設等について国に要望しているところです。</p>	<p>①意見書をあげる 子どもの医療費無料化は本来国の制度として実施すべきです。</p>	<p>*その他 ①でも②でもありません。医療だけでなく、市役所から国に要望する意見書全体を見て判断します。要望は絞り込んで出さないと、決して実現はされないと考えます。</p>
<p>【質問5】 こども病院の人工島への移転問題についてお尋ねします。市長に当選された場合は… ①推進する ②反対する その理由をお書き下さい。</p>	<p>①推進する 新病院の整備場所の決定にあたっては、現地建て替えや近隣候補地なども比較検討の上、敷地の活用性や療養環境など総合的な観点から判断したものであり、今後とも、21世紀を担う子ども達のための病院づくりに全力で取り組んでまいります。</p>	<p>②反対する こども病院は今のよう福岡市の真ん中にあるのがベストです。人工島に移転すれば、小児医療の配置バランスが崩れ、患者の命が救えない事態が生じます。こども病院と連携している小児科医や産科医からも反対の声があがっています。そもそも「見直す」という選挙公約を裏切り、人工島破たん救済のために移転を強行しようとしている市長の態度は許せません。こども病院の老朽化対策は現地または周辺での建て替えで解決します。また、とくに総合病院の小児科閉鎖が相次いでいる東部地域で小児救急医療体制の強化を図ります。</p>	<p>②反対する 人工島移転反対の理由は多々ありますが、福岡市全体を考えると、未熟児の搬送に時間がかかり、命が危なくなる地域があります。検討の経過も不明な点が多々あります。なお、単に反対するだけでは問題は解決しません。九州大学医学部敷地内への移転か、リファイン方式での現地建てかえを提案しています。</p>
<p>予防接種の助成について 【質問6】 3つのワクチン（肺炎球菌ワクチン、ヒブワクチン、子宮頸がんワクチン）接種への助成をしていただけますか。 ①助成する ②助成しない ③その他 その理由をお書き下さい。</p>	<p>①助成する 子宮頸がんワクチンの接種については、新たに公費助成を開始するとともに、肺炎球菌ワクチンやヒブワクチンについても、助成の検討を進めます。</p>	<p>①助成する 細菌性髄膜炎については世界保健機関(WHO)も1998年にすべての国に対して乳幼児へのヒブワクチン接種を勧告しており、国として公費による定期予防接種を実施すべきです。肺炎球菌ワクチンについてもすでに安全性と有効性が立証されています。子宮頸がんについては、ワクチン接種で予防できるものの費用が高いことが問題です。いずれも国として公費による接種、公費助成の実施が求められていますが、それまでの間、市として助成を実現します。</p>	<p>①助成する 福岡市の疾病分布の長期推移データが入手できていないので、優先順位を申し上げられませんが、ご指摘のものに加えて、おたふくかぜワクチン、水痘ワクチンも検討の対象とし、このなかから、症例の多いもの、医療費が高いもの、国の補助制度の動き等総合的に判断して、助成の範囲と実施年度等の予防政策を決定いたします。</p>
<p>懇談について 【質問7】 今後、機会があればご懇談いただけますか。 ①懇談する ②懇談できない</p>	<p>②懇談できない これから決算委員会が始まることなどから、多忙を極めております。</p>	<p>①懇談する</p>	<p>①懇談する 時間があれば、懇談いたします。</p>

「子ども医療費および予防接種の助成拡大に関する」福岡市長候補者アンケート集約②

飯野 健二	植木 とみ子	あらき 龍昇	高島 宗一郎
④現状のまま 財源の確保が現状では厳しいと 考えています。	②中学校卒業まで 義務教育期間は行うべきです。	①高校卒業まで 子どもは社会が育てるという考 えです。18歳までの未成年者は原 則全員医療費は国家が責任を持つ べきと考えています。	②中学校卒業まで 政令市の中でも中学校卒業まで 入院費に限り半数以上です。 子どもにやさしい「まち」を目 指すため入院費に限り中学校卒業 までと思います。
③その他 財源の確保が見込めることがで き、どれくらいかかるのか詳細な 計算が必要であると考えていま す。可能なら考えたいと思います。	①実現する 上記と同じです。	①実現する 財源の問題があるので、他の子 育て支援策との整合性を図りなが ら努めます。	③その他 実現には予算などの問題もあり ますが、前向きに検討します。
②掲げません 財源の確保が見込めない状況で は公約に入れることはできないと 考えています。	②掲げません 本来、国がやるべきことです。 暫定的に地方が対応すべきこと でしょう。	①掲げます すべての子どもが健康に育つこ とができるよう、子どもの医療費 助成拡大に努めます。	*その他 検討します。
①意見書をあげる 市民からの要望としてあげるべ きであると思います。	①意見書をあげる 上記と同じです。	①意見書をあげる 本来子どもは社会が育てるとい う考えです。すべての子どもが健 康で育つことがこれからの日本を 支えることとなります。子どもを 生み育てやすい社会にしなければ 人口減少に歯止めがかかりませ ん。国の責任として対処すべきと 考えています。	*その他 医療費に関しては国民の基本的 な施策（安全）であり、全国統 一が望ましいと思いますので、その 考えのもと国に要望したいと思います。
②反対する 1.今以上に赤字になるおそれ がある。 2.小児科の拠点病院の福岡市全 体のバランスが悪くなる。 3.アクセスが橋のみで、橋がダ メージを受けた場合に救出が困難 になるおそれがあります。	②反対する 今の病院は、現地又は交通至便 地に設置すべきです。	②反対する 1.交通アクセスが悪い人工島に移転 すれば子どもの命を救うことができ ないということがある。2.病院の環 境としても極めて悪い。港湾道路に 隣することでの排ガス、騒音、国 際コンテナ埠頭の側のため、荷役 作業の騒音や光公害、セアカゴケ クモなどの害虫の侵入、様々な 病原体を持つネズミなどの侵入の 恐れ、福岡空港航路下の騒音や電 磁波障害など。3.毎年30億円の 赤字を30年間出し続ける過大な 事業計画はやめるべき。4.こども 病院人工島移転は破綻した人工島 事業の穴埋めであり、子どもの命 が犠牲になるのは許せない。	①推進する こども病院は最先端の設備、拡 張性、建て替え、家族の宿泊、療 養環境などを考えた場合、アイラ ンドシティは最適地と考えます。
③その他 すみません。この件に関しては 勉強不足です。	③その他 国、県、市、家族で費用を分担 すべきです。市のみでは財政的に 負担が多すぎます。	①助成する 予防医療を広げることで、子ども の健康の確保と医療費の削減を目 指したいと考えています。	③その他 今回、私の公約として、子宮頸がん ワクチンの助成に取り組みます。
①懇談する	①懇談する 時間的な余裕があれば懇談す る。	①懇談する	②懇談できない